

ポートウォール

NETIS CBK-040005

矢板式係船岸のプレキャスト化に成功！

概要



港湾工事において多く施工されている矢板式係船岸の上部工には、係船柱や防舷材等が設置され、係留施設となると同時に、矢板・タイロッド等の腐食防止を考慮し、現場打ちにて対応されています。従来は、潮の干満等の影響を受ける事が多く、潜水士や鉄筋工、型枠工などの熟練工を必要とし、作業時間も長期を要していました。

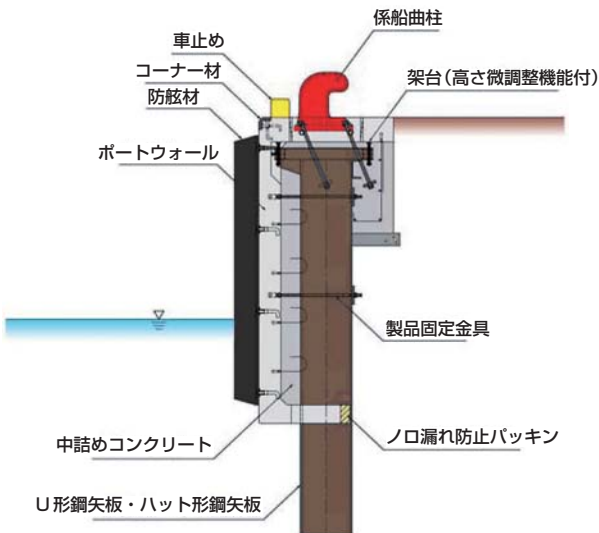
「ポートウォール」は、現場打ちでの課題を大幅に改善させることができるコンクリート二次製品です。

特長

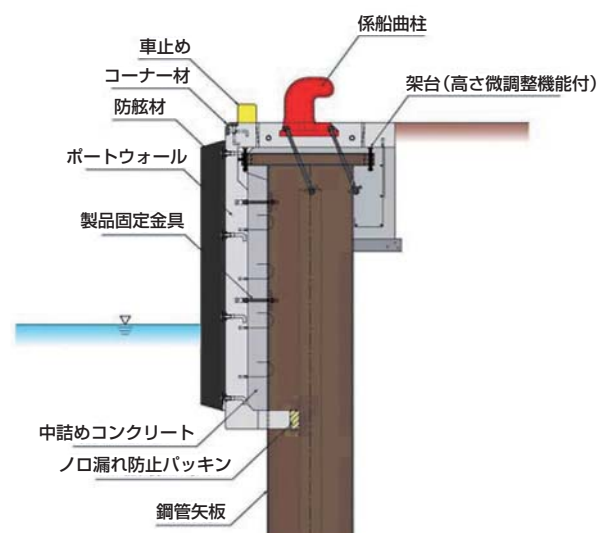
- ①機械作業により、効率化が図れ大幅な工期短縮となります。
- ②海側における型枠工、鉄筋工などの熟練作業が不要となります。
- ③施工は陸側からの作業のみであるため、潮位変動の影響を受けにくくなります。
- ④埋没型枠工により、型枠廃材等が軽減され、制作が困難であった底面型枠を不要としました。

標準断面図(参考例) ※物件毎の対応となりますので、お問い合わせ下さい。

【鋼矢板対応例】

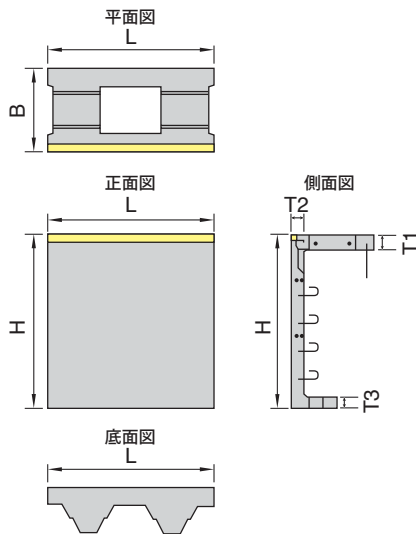


【鋼管矢板対応例】

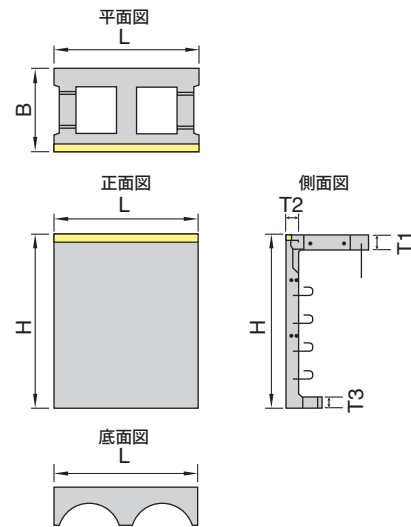


形状・寸法(参考例)

鋼矢板タイプ



鋼管矢板タイプ



■規格寸法表

サイズ	寸法仕様(mm)					参考質量(kg)
	H	B	T1	T2	T3	
1,500	1,200	200	150	150	2,400	2,500
2,000	1,200	200	180	150	2,400	3,230
2,500	1,200	200	180	150	2,400	3,760
3,000	1,200	250	200	200	2,400	4,890
3,500	1,200	250	200	200	2,400	5,480
4,000	1,200	300	200	200	2,400	6,270

※左記はあくまでも基本寸法であり、各現場条件に応じて調整(寸法変更)可能です。適合についてはお問い合わせ下さい。

※左記サイズは、U形鋼矢板(幅広タイプ)の参考値です。幅広タイプ以外・ハット形・鋼管矢板対応はL寸法がかわります。お問い合わせ下さい。

施工例



施工前



施工中



完成

施工歩掛

名称	単位	型枠なし
世話役	人	3.4
特殊作業員	人	2.2
普通作業員	人	13.7
型枠工	人	—
ラフテレーンクレーン運転	日	4.0
諸雑費率	%	21

(ご注意)

1. 左表の労務歩掛は、高さ調整金具取付、ブロック連結、中詰めコンクリート打設、養生等の労務を含みます。
2. 本歩掛は、運搬距離30mまでの現場内小運搬を含んでいます。
3. ラフテレーンクレーンは、資料とします。
4. 諸雑費は、基礎砕石の敷設・転圧労務・基礎砕石の材料投入労務・締固め機械運転経費、電力に関する経費、型枠持上(下)機械経費、パイプレーター・コンクリートバケット・電気ノコギリ・電気溶接機等損料、砕石・調整金具・連結金具・目地材・溶接棒・型枠材・剥離材等の費用であり、労務費、機械賃料の合計に左表の率を乗じた金額を上限として計上します。
5. 諸雑費は、基礎砕石の有無によらず適用できる。ただし、敷均し厚は、10cm以下を標準とします。
6. 諸雑費の基礎砕石は、材料の種別・規格にかかわらず適用できます。
7. 国土交通省土木工事積算基準笠コンクリートブロック据付工を参照しています。